

対象施設の名称	入谷老人福祉館
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団
所管部課	福祉部 高齢福祉課

評価委員会による評価

1 評価の観点

「評価の観点」(①～④)における委員会の評価については、委員会の合議により決定した。

① 事業の運営について

委員会の評価：A (区の評価：A)

委員のコメント

- 入浴サービスは好評であり、個人利用者数も多く、地域における高齢者の交流の拠点として、十分に機能している。また、職員の接遇態度は良好であり、適切なサービスが行われている。
- 未利用者の利用しない理由等も把握し、新規利用の促進を図られたい。
- 地域の高齢者との協力関係を築くことで、今まで培ってきた知識・経験・技能を活かしつつ、より充実した事業展開ができると思われる。

② 施設の維持管理について

委員会の評価：A (区の評価：A)

委員のコメント

- 建設から長い時間が経過しているが、必要に応じ修繕を実施しつつ、整理整頓に心がけるなど、適切に施設が維持管理されている。

③ 利用者の満足度について

委員会の評価：A+ (区の評価：A+)

委員のコメント

- 建設から長い時間が経過している施設であるため、各室の配置等、現在の使用形態とそぐわない部分もあると思われるが、工夫しながら施設全体を有効に活用していることが評価できる。
- 利用者以外の意見も取り入れた満足度評価も検討されたい。
- 利用対象者が、より広く参加できる方法を講じる必要があるとあり、例えば、近隣の人々、町会、団体、グループなどへの積極的なアピールなど、新規利用者の掘り起こしにも努められたい。

④ 歳入歳出について

委員会の評価：A (区の評価：A)

委員のコメント

- 自主事業と委託事業の区分について不明確な部分が見受けられるので、委託料の支出方法について検討の余地があると思われる。

2 総合評価

総合評価は、P 6 に示した基準に従い、「評価の観点」の結果に応じて評価を付した。

委員会の評価：A (区の評価：A)

委員のコメント

- 地域の高齢者の日常的な活動拠点として、明るい雰囲気施設の運営に努め、地域に根ざした事業運営を展開し、一層の利用者の増加が図られることを期待する。

区への意見

委員のコメント

- 介護予防の効果という観点等、中長期的な視点で指定管理者の評価を行う方法も検討する必要がある。

※ 「委員のコメント」及び「区への意見」については、評価の過程における多様な意見を報告書に反映するため、各委員から出された様々な意見を記載している。

区による評価

平成 21 年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称 入谷老人福祉館 指定管理者の名称 社会福祉法人台東区社会福祉事業団

1. 指定管理者の概要

①業務内容	台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して昭和 6 1 年 1 0 月に設立した社会福祉法人である。
②類似施設の管理実績	老人福祉センター・橋場（旧今戸）老人福祉館・三筋老人福祉館
③経営状況	(20 年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入 2,454,705,943 円,歳出 2,433,180,998 円,収支差額 21,524,945 円 [公益事業特別会計]歳入 327,444,890 円,歳出 380,680,744 円,収支差額▲53,235,854 円

2. 施設の概要

①所在地	台東区入谷 1-16-9
②設置目的	地域の高齢者が、健康で明るく生きがいのある生活を送れるよう活動の場を提供する。
③利用者	区内に住所を有する 60 歳以上の者及び 60 歳以上の者で組織する団体
④開館日・時間	月曜日から土曜日 午前 9 時から 17 時まで
⑤規模	延べ床面積 341㎡ 鉄筋コンクリート造地上 4 階 浴室、教養室、茶道・囲碁将棋室、図書室など
⑥人員体制	常勤 1 名、非常勤 3 名

3. 事業（サービス提供）の概要

①委託事業	教養向上及びレクリエーション事業、個人・団体へ教養室等の開放、入浴サービス、防災訓練 等
②自主事業	サロン事業（カラオケ、輪投げ教室等）

4. 施設の稼働状況等

◆施設利用実績（年間）

◆健康づくり（介護予防）及びことぶき教室実績（年間）

		男		女		計	月平均	健康づくり（介護予防）		ことぶき教室		
		個人利用	団体利用	個人利用	団体利用			開催数	参加延人数	開催数	参加延人数	
19 年度	個人利用	9,522		13,787		23,309	1,942	19 年度	37	581	60	1,863
	団体利用		1,455		1,455	121						
20 年度	個人利用	9,226		13,411		22,637	1,886	20 年度	60	1,030	99	2,072
	団体利用		2,236		2,236	186						

5. 予算決算の推移

(単位：円)

		17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度
予 算	委託料	33,358,000	27,446,000	19,588,000	19,792,114	19,644,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	33,358,000	27,446,000	19,588,000	19,792,114	19,644,000
決 算	委託料	24,375,061	17,410,920	17,934,216	19,789,577	
	料金収入等	0	0	0	0	
	管理経費	24,375,061	17,410,920	17,934,216	18,675,737	
	収 支	0	0	0	1,113,840	

6. 指標

指標名称	単位	目標値 (22 年度)	19 年度	20 年度	21 年度
延利用者数	人	26,100	24,764	24,873	
健康づくり・介護予防事業、 ことぶき教室等参加者数	人	3,200	2,444	3,102	

7. 評価項目		
3：協定等の水準を上回っている。 2：おおむね協定等の水準どおりである。 1：協定等の水準を下回っている。 ー：評価対象外項目		
評価の観点	評価	項目
①事業の運営 平均 [2. 1]	(1) 施設の目的達成 [2] (2) サービス水準 [3] (3) 職員配置 [2] (4) 職員研修 [2] (5) 案内・接遇 [2]	(6) 開館時間等の遵守 [2] (7) 自主事業の成果 [2] (8) 個人情報保護 [2] (9) 緊急時対応マニュアル [2] (10) 警備・防犯体制 [2]
②施設の維持管理 平均 [2. 0]	(1) 建物保守・設備機器点検 [2] (2) 備品の管理 [2] (3) 清掃・衛生管理 [2] (4) 施設の修繕 [2]	(5) 危険箇所等の確認 [2] (6) 管理記録の作成・保存 [2] (7) 業務委託の事前承認 [2] (8) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]
③利用者の満足度 平均 [2. 2]	(1) 利用者・第三者機関の評価 [2] (2) 苦情・要望への対応と報告 [2] (3) 利用者数の目標達成 [2]	(4) 利用しやすい環境整備 [2] (5) 関係団体・地域との関わり [3]
④歳入歳出 平均 [2. 0]	(1) 適正な予算執行 [2] (2) 経費縮減のための取組み [2]	(3) 収支計画の達成 [2] (4) 利用料等の徴収・管理 [2]
8. 評価		
A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。		
評価の観点	評価	説明
①事業の運営	A	新たにご意見箱を設置し、利用者要望を広く汲み取り、サービス水準の向上を図っており、また、地域・世代間交流事業として松が谷児童館との交流など、地域における高齢者の活動の場の提供が図られている。
②施設の維持管理	A	施設設備の定期的な保守点検の実施後、速やかに区へ報告を行っている。また、清掃業務及び警備業務は委託を行っているが、業務内容を業務日誌や実地検査で確認しており、適切な施設管理を行っている。
③利用者の満足度	A+	利用者の満足度調査では、概ね利用者からの満足度が高く、また、地域包括支援センターや町会等関係機関との連携も含め、地域に根ざした事業運営を展開している。
④歳入歳出	A	事業団の経営改革プログラムに基づいた管理経費の見直しを行っているが、引き続き効率的な運営が求められる。
⑤総合評価	A	地域との連携に積極的に取り組んでおり、地域における高齢者を中心とした交流が促進されている。今後もより一層、利用者からの苦情・要望等を施設運営に反映させ、利用者満足度の高い施設を目指していく必要がある。
9. 課題への対応等		
施設管理については適切に実施されており、満足度調査における利用者からの満足度も概ね高い。 今後も利用者からの高い評価を得られる施設運営を継続していくとともに、利用者数の増加を図りながら、老人福祉センターを中心施設として各館との連携及び一体的な事業運営を強化していく必要がある。		